

第1号議案

令和元年度事業報告並びに収支決算の承認について

事業報告総論

1. 総括

令和元年度は、岐阜県や愛知県で発生した豚熱(豚コレラ)が、三重県、福井県、長野県、埼玉県、沖縄県にも感染が拡大し、感染各県でワクチン接種が開始されており、小康状態が続いている。

また、新型コロナウイルスの影響は、畜産物の消費にも影響しており、特に高級な和牛牛肉は影響を受けて、令和2年3月は前年同月比の売上価格が33.7%も減少し、今後の状況が見通せない。

このような中、福井県では、令和元年7月29日と8月12日、越前市の養豚農家で豚熱が発生し、約920頭が殺処分された。10月には、既存農家へのワクチン接種を実施した。

豚熱の感染拡大防止のため感染源とされる野生イノシシに対し、経口ワクチンを散布するための福井県豚コレラ感染拡大防止対策協議会を設置し、南越前町や嶺南地域での野生イノシシへ経口ワクチン散布を実施した。

また、新型コロナウイルスの影響による肉専用種の枝肉販売価格の下落により、牛マルキンで肉専用種は2月、交雑種は10、11月及び2月、乳用種に至っては毎月交付金交付が発生しており、肥育経営及び繁殖経営でも子牛価格が急落しており、大幅な所得減少が懸念される。

酪農では、学校給食の停止により給食牛乳が停止しており、県内分は加工乳などに振り替えるなどの対応がとられているが、そのため、牛乳の販売単価が下がっており、酪農経営の所得の減少も懸念される。

こうした畜産を巡る情勢の中、本協会は、畜産関連業界・団体と行政の連携・調整役として重要な役割を担い、国、県、中央団体の補助事業を補完する団体として経営診断、価格補填、畜産クラスター事業、楽酪事業の窓口団体等、経営技術の効率的、効果的な支援事業により県内生産者の経営改善と基盤強化に取り組んだ。

特に、肉用牛肥育経営安定交付金制度による肥育農家への所得補填は、農家の経営安定に努めたほか、畜産関連の機械導入を行う畜産クラスター事業や楽酪事業の実施により、畜産経営者へのセーフティネット構築や畜産経営者の新たな取り組みへの支援を実施した。

衛生指導事業では、高度化する生産体制の確立と、高品質な畜産物生産を確保するため、牛、豚、鶏に対する自衛防疫事業を強化するとともに、鳥インフルエンザの発生防止やアカバネ病対策にも努めた。

家畜改良事業では、牛群検定、家畜登録および優良精液の利用推進を図り、乳用牛の改良と若狭牛の効率的生産に努めた。

また、福井県では、県営牧場でのふれあい体験学習を展開しており、協会も積極的に事業参加して消費拡大と畜産への理解推進を図った。

2. 総会等の開催状況及び組織

1) 総 会

開催年月日	議案とその議決
令和元年6月 定時総会 (令和元年6月24日)	第1号議案 平成30年度事業報告並びに収支決算の承認について 第2号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の制定 について 第3号議案 任期満了に伴う役員の選任について
第66回通常総会 (令和2年3月24日)	第1号議案 令和元年度収支予算の補正について 第2号議案 令和2年度事業計画及び収支予算計画について 第3号議案 賦課金等の金額および賦課方法・徴収時期について 第4号議案 借入金の最高限度額および借入先について 第5号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について

2) 理 事 会

開催年月日	議案とその議決事項
令和元年6月 理事会	1. 令和元年6月定時総会ならびに総会事前説明会の開催日程 等について 2. 令和元年6月定時総会提出議案の審議について (令和元年6月3日)
令和2年2月 理事会	1. 第66回通常総会ならびに総会事前説明会の開催日程等 について 2. 第66回通常総会提出議案の審議について 3. 予防接種料金等の改定について (令和2年2月26日)

3) 監事会

開催年月日	議案とその議決事項
令和元年5月	1. 平成30年度における事業実施状況・会計決算について の監査 (令和元年5月27日)

4) 組 織

(1) 会 員

ア. 正 会 員

	年度始 現在数	本年度 増加数	本年度 減少数	年度末 現在数	備 考
各 J A	1 1			1 1	
J A福井県中央会	1			1	
J A福井県信連	1			1	
J A福井県経済連	1			1	
全共連福井県本部	1			1	
各市町	1 9			1 9	
畜産団体	8			8	農業共済組合 県肉用牛協会 県養鶏協会 県獣医師会 県家畜改良協会 県酪農農協連 県養豚協会 県和牛生産振興会
福井県	1			1	
合 計	4 3	0	0	4 3	

イ. 準会員

なし

(2) 機 構

ア. 役 員

(R2.3.31 現在)

役職名	氏 名	所属・役職名
会長理事	田波 俊明	J A福井県中央会・会長
常務理事	山田 常広	
理 事	寺井 敏高 林 信一 宮田 幸一 坂田 和洋 瓦 惣一 高木 平光	J A福井市・経営管理委員会会長 J Aテラル越前・代表理事組合長 J A若狭・代表理事組合長 福井県農業共済組合・専務理事 福井県和牛生産振興会・会長 福井県獣医師会・会長
代表監事	河合 利満	J A越前丹生・専務理事
監 事	齊藤 雅幸	J Aたんなん・代表理事専務

イ. 職 員

職 名	年度始 人員	本年度中の移動		年度末 人員	備 考	
		任用	解任			
一 般 職 員	事 務 局 長 (総括畜産コンサルタント)	1	0	0	1	
	畜産コンサルタント	3	0	0	3	
計		4	0	0	4	

実施事業

1 畜産振興に関する事業

本事業は、県内畜産農家が、消費者へ継続的かつ安定的に畜産物を供給できるようにするために、畜産農家の生産技術向上及び経営技術習得を指導する事業であり、下記の事業を実施した。

1) 畜産農家の生産技術向上に対する事業で、家畜の改良や改良に必要な情報収集を実施する事業

(1) 家畜改良繁殖推進事業【福井県補助事業:626,000 円】

乳用雌牛群の効率的かつ総合的な能力検定の推進により、優良乳用雌牛群の選抜確保と能力に応じた利用および効率的な飼育管理ならびに検定済種雄牛の計画的増頭を図るため、乳用雌牛の飼育農家を対象に検定雄牛および後代検定材料牛の検定の実施、記録の収集ならびに検定成績による指導を14戸440頭実施した。

(2) 家畜改良繁殖推進事業【福井県委託事業:162,000 円】

乳用牛群検定の普及定着及び後代検定による乳用牛の能力向上を図るため、全国の牛群情報を収集すると共に、データーを集計分析し、農家指導等県段階の事業推進に努めた。

(3) 乳用種雄牛後代検定事業【家畜改良事業団委託事業:22,546 円】

後代検定事業推進のため調整交配の促進、後代検定娘牛受胎奨励に努めた。

(4) 乳用牛改良増殖推進事業【家畜改良事業団委託事業:19,200円】

乳用牛の遺伝子情報を用いたゲノミック評価の信頼性を向上させるため、SNP検査に必要な未經産牛のサンプル収集を行い、泌乳持続性の高い乳用牛の改良を進めた。6戸8頭実施。

(5) 日本家畜人工授精師協会委託事業【日本家畜人工授精師協会委託事業:39,580円】

乳用雌牛に対する交配品種ごとの人工授精および受精卵移植の交配実績のデーター収集を四半期毎に実施し、将来動向を事前に的確に把握することにより乳用後継牛確保に努めた。

2) 畜産農家の経営診断および改善指導、消費者に対する畜産物の情報提供により畜産振興を図る事業

(1) 畜産経営技術指導事業【地方競馬全国協会補助事業:5,388,000 円】

地域での畜産振興を推進するため、消費者の畜産に対する理解醸成のための消費拡大イベントや、畜産技術の研修などを支援した。

(2) 畜産経営技術高度化支援指導事業【福井県補助事業:890,000 円】

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を早急に育成するために、畜産農家同士の切磋琢磨のなかで、自ら経営改善に取り組む意欲・努力を助長するとともに、指導体制および指導手段・内容の充実を図ることにより、畜産農家の経営技術の高度化に対する支援・指導を総合的に実施した。

(1) 畜産農家に対する情経営技術高度化指導(個別指導)

①先進経営育成のための集合研修

6回

②経営計画の作成指導	16回
③経営改善のためのフォローアップ指導	21回
④生産技術の改善指導	22回

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入)【中央畜産会委託事業:391,434円】

地域の畜産関係者が有機的に連携し、地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画の中心的な経営体に対し、収益力の強化等に必要な機械のリース導入について、事業実施手続き等の効率化および事業実施体制の強化を図った。

・県内機械導入状況調査に係る現地調査 1件

(4) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業【中央畜産会委託事業:143,727円】

酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対する支援や、搾乳作業をまとめて省力的に実施するための集合搾乳施設の整備等を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(5) 畜産経営体生産性向上対策事業(ICT化等機械装置等導入事業)【中央畜産会委託事業:169,031円】

酪農家や肉用牛農家に対して、省力化(労働負担軽減)・生産性向上を図ることを目的に ICT 化等の技術を活用した機械装置のリースによる導入を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(6) 畜産関係団体調整機能強化事業【中央畜産会委託事業:967,928円】

現下の畜産をめぐる厳しい内外環境に対処するため、県内畜産経営者からの経営・技術・制度・資金等各種相談に応じる畜産経営相談窓口となり、畜産経営者等への支援を実施した。

2 畜産経営の安定のための価格差補填金の交付に関する事業

本事業は、県内肥育牛生産者が、安定的に経営を継続していけるように販売した肉用牛に対する価格差補てんをする事業であり、下記の事業を実施した。

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

畜産経営の安定に関する法律(昭和36年法律第183号)に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図った。なお、当協会は農林水産大臣が指定する積立金管理者として、負担金を適切に管理した。

(ア)令和2年3月31日現在 契約戸数:28戸

(イ)平成31年4月～令和2年3月基金造成額

(単位:頭、円)

品 種	積立金単価	頭数	肥育安定 基金造成額
肉 専 用 種	6,000	700	4,200,000
交 雑 種	17,000	587	9,979,000
乳 用 種	19,000	52	988,000
合 計		1,339	15,167,000

(ウ)肉用牛交付金交付実績

(単位:頭、円)

品 種 区 分	交 付 対 象		交 付 金 額 (円)
	人 数 (人)	頭 数 (頭)	
肉 専 用 種	0	0	0
交 雑 種	18	90	733,063
乳 用 種	22	53	2,289,625
小 計	40	143	3,022,688

※平成26年度より平成26年4月に販売された交付対象牛から、交付金の概算払いを実施。

※交付金の額の1/4に相当する額は、生産者積立金から、残りの3/4に相当する額(国費)は、機構から交付。

(2)肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業【農畜産業振興機構委託:5,354,565円】

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務を、円滑に実施した。なお、標記制度委託要綱第4に基づき、事務の一部を下記の事務委託先へ委託して実施した。

福井市南部農業協同組合、花咲ふくい農業協同組合、春江農業協同組合、テラル越前農業協同組合、越前丹生農業協同組合、福井池田町農業協同組合、越前たけふ農業協同組合、敦賀美方農業協同組合、若狭農業協同組合、福井県配合飼料価格安定基金協会 以上 10事務委託先

※農協の合併に伴い、令和2年度の事務委託先は、福井県農業協同組合、越前たけふ農業協同組合、福井県経済農業協同組合連合会、福井県配合飼料価格安定基金協会の4団体。

3 家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業

安全安心な畜産物を生産・提供するための家畜疾病予防対策や家畜衛生指導を行った。

(1)家畜生産農場清浄化支援対策事業【国庫補助事業:213,421円】

生産農場において伝染力、流行性が強い疾病の発生予防のため、ワクチン接種推進会議を開催し、地域一体となった組織的予防接種を推進した。またアカバネ病混合ワクチン接種を実施し、畜産経営の安定と畜産物の安全性の確保に努めた。

(2)牛疾病検査円滑化推進対策事業【国庫補助事業:601,633 円】

死亡牛の円滑かつ適正な処理を推進するとともに、BSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の運搬・処理体制の整備を支援し、畜産物の安全性の一層の向上と消費者の信頼確保に努めた。

(3)家畜防疫互助基金支援事業【農畜産業振興機構補助事業:97,876 円】

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合に備え、生産者等が損失を互助補償するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、家畜防疫互助事業への加入を推進した。

(4)豚コレラ野生イノシシ経口ワクチン導入緊急支援事業

【農畜産業振興機構補助事業:5,243,306 円】

野生イノシシを介した CSF ウイルスの拡散を防止するための野生イノシシに対する経口ワクチン散布に要する経口ワクチンを緊急的に導入する取り組みに対しその導入経費を支援し、もって養豚生産振興を図った。

4 その他の事業

1)乳牛及び和牛の改良を推進するために、家畜改良事業団の精液取扱窓口団体として凍結精液の販売を行う事業

県内の乳牛・和牛の種畜改良および生産性の向上を図るために、(一社)家畜改良事業団等の精液取扱窓口団体として、酪農家及び和牛繁殖農家等に牛の凍結精液を販売した。

(1)精液等取扱事業【独自事業:10,164,980 円】

精液配布本数 乳用牛 839 本 和牛 791 本 後代検定 70 本

液体室素配布 県内5ヶ所おおむね 40 日間隔で年 9 回補給した。

2) 家畜改良の促進を図るために、家畜の登録事業を行う事業

家畜の改良増殖、生産効率向上のため、県内の酪農家で生まれた子牛の遺伝的な情報を登録し、近親交配・遺伝的不良形質をもった牛の生産を回避するための家畜登録を推進した。

(1)家畜登録事業【独自事業:541,119 円】

血統登録 2 頭 自動登録 102 頭

遺伝子型検査 17 頭 牛群奨励審査 2 頭

自動登録を推進し、登録の普及啓蒙を図った。

3)安全・安心な畜産物を生産及び提供するため、家畜の予防接種を行う事業

安全・安心な畜産物の生産および生産性の向上のために予防接種を実施した。

(1) 予防接種事業【独自事業：3,808,640 円】

予 防 接 種 名	実施計画頭羽数	実施頭羽数
豚日本脳炎・豚パルボ感染症混合	70	98
鶏ニューカッスル病	26,000	26,600
牛伝染性鼻気管炎および五種・六種混合	390	347
牛異常産三種・四種混合	720	595
キャトルウイン 5HS およびキャトルバクト3	130	163
牛クロストリジウム感染症五種混合	820	838
牛下痢五種混合	100	107

(2) 予防接種事故対策事業【独自事業】

予防接種事業に係る不測の事故は無かった。

4) 県内畜産公共施設での家畜衛生業務や消費者への体験学習業務により、家畜衛生の向上や畜産の普及啓発を図る事業

県内畜産公共施設において、家畜衛生の業務の速やかな実行のための業務員配置、消費者の畜産知識の向上を図るための体験ガイド配置により、家畜衛生および畜産の普及啓発の向上を図った。

(1) 家畜衛生業務委託事業【福井県業務委託事業:3,738,166 円】

牛海綿状脳症(BSE)の湿潤状況および防疫対策を検証するため、死亡牛の適正処理とBSE検査を円滑に行えるよう、死亡牛等の解剖補助・処理の業務を行い、良好な家畜衛生業務及び環境維持に努めた。

(2) ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業【福井県業務委託事業:11,627,460 円】

畜産試験場等の公営畜産施設において業務員を配置し、ふれあい牧場の施設管理、家畜の管理をするとともに、動物とのふれあいや体験学習の案内及び畜産に対する理解醸成に努めた。

体験学習実施 62 団体 2,392 人 見学者対応 25,545 人

(3) 豚コレラ野生イノシシ経口ワクチン緊急散布支援事業会計業務委託

【福井県豚コレラ感染拡大防止対策協議会委託:6,254,400 円】

野生イノシシにおけるCSFウイルスの拡散防止を図り、もってCSFの発生予防およびまん延防止を徹底するため設置された、福井県豚コレラ感染拡大防止対策協議会の会計業務を円滑に実施した。

5)放牧等畜産振興に係る技術指導等

生産者で組織する放牧組合が、県内の耕作放棄地を利用して実施する放牧に対して、放牧場の維持管理方法の指導を実施し、畜産の技術向上を図った。

(1)放牧管理業務事業【独自事業:276,982 円】

農林高校の授業の一環として実施している演習場(柿畑)での放牧について、農家との連絡調整・放牧牛の手配、放牧場の見回り等の支援を実施した。

また、耕作放棄地を利用した放牧場の管理支援等を実施した。

(2)消費拡大事業【独自事業:209,319 円】

豚熱の発生による不安を払拭するため、養豚団体が開催する地元豚肉を使用した料理講習会(ソーセージ作り)への支援や、消費が低迷している鶏卵などを農協と協力して、イベントで配布するなど、畜産物の PR を実施した。

一般指導および畜産振興にかかる諸事業

関係機関・団体との緊密な連携のもとに、必要に即し畜産経営指導および経営能力向上等の指導に努めるとともに、各畜産共進会等への協力と優秀入賞家畜飼養者に対する褒賞等を行い、畜産農家の生産技術と意欲の高揚促進に努めた。

また、各関係機関・団体等における各畜産振興事業に対し積極的に協力するとともに、本県畜産の安定的発展に努めた。

(各畜産共進会等に対する褒賞状況)

共進会名	開催年月日	褒賞
第 37 回福井県若狭子牛共進会	令和元年 11 月 21 日	
第 26 回福井県肉牛枝肉共励会	令和元年 12 月 2 日	賞状および副賞

貸借対照表

令和2年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	5,210,306	4,538,378	671,928
未 収 金	8,226,253	6,344,329	1,881,924
前 払 費 用	246,237	169,074	77,163
流動資産合計	13,682,796	11,051,781	2,631,015
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	26,800,000	21,539,800	5,260,200
家 畜 衛 生 基 金	10,279,000	10,279,000	0
肥 育 安 定 基 金 預 金	18,163,111	152,726,311	△ 134,563,200
特定資産合計	55,242,111	184,545,111	△ 129,303,000
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	55,242,111	184,545,111	△ 129,303,000
資産合計	68,924,907	195,596,892	△ 126,671,985
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	4,788,256	4,086,373	701,883
預 り 金	266,613	477,177	△ 210,564
未 払 消 費 税 等	2,455,785	514,009	1,941,776
流動負債合計	7,510,654	5,077,559	2,433,095
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	26,800,000	21,539,800	5,260,200
長 期 預 り 金	10,279,000	10,279,000	0
肥 育 安 定 基 金	18,163,111	152,726,311	△ 134,563,200
固定負債合計	55,242,111	184,545,111	△ 129,303,000
負債合計	62,752,765	189,622,670	△ 126,869,905
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	6,172,142	5,974,222	197,920
一般正味財産合計	6,172,142	5,974,222	197,920
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	6,172,142	5,974,222	197,920
負債及び正味財産合計	68,924,907	195,596,892	△ 126,671,985

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
賦 課 金	4,593,500	4,626,500	△ 33,000
賦 課 金	4,593,500	4,626,500	△ 33,000
事 業 収 益	14,514,739	12,423,815	2,090,924
家 畜 登 録 事 業 収 益	541,119	608,255	△ 67,136
精 液 取 扱 事 業 収 益	10,164,980	7,748,280	2,416,700
予 防 接 種 事 業 収 益	3,808,640	4,067,280	△ 258,640
受 取 補 助 金 等	42,464,846	30,369,384	12,095,462
家畜生産農場清浄化対策事業費	213,421	224,914	△ 11,493
牛疾病検査円滑化推進対策事業費	601,633	707,022	△ 105,389
家畜改良繁殖推進事業(補助金)	626,000	626,000	0
畜産経営技術高度化支援指導事業費	890,000	890,000	0
畜産経営技術指導事業	5,388,000	4,942,000	446,000
肉用牛肥育経営安定特別対策事業費(事務費)	0	3,784,691	△ 3,784,691
家畜防疫互助基金支援事業費	97,876	206,378	△ 108,502
豚コレラ野生イノシシ経口ワクチン導入緊急支援事業費	5,243,306	0	5,243,306
家畜改良事業団補助金(奨励金)	351,779	269,892	81,887
日本ホルスタイン登録協会補助金(還元金)	162,794	185,102	△ 22,308
衛生体制強化基金事業費	0	9,000	△ 9,000
家畜衛生業務委託事業費	3,738,166	3,704,400	33,766
家畜改良繁殖推進事業費(委託)	162,000	162,000	0
ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業費	11,627,460	10,973,880	653,580
肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業	5,354,565	778,658	4,575,907
肉用牛肥育経営安定交付金制度準備業務委託	0	716,802	△ 716,802
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費	391,434	1,405,305	△ 1,013,871
酪農経営体生産性向上緊急対策事業費	0	88,761	△ 88,761
酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	143,727	92,512	51,215
畜産経営体生産性向上対策事業	169,031	0	169,031
畜産関係団体調整機能強化事業費	967,928	496,648	471,280
乳用種雄牛後代検定事業費	22,546	36,804	△ 14,258
乳用牛改良増殖推進事業委託事業費	19,200	19,200	0
日本家畜人工授精師協会委託事業費	39,580	39,415	165
放牧管理受託事業費	0	10,000	△ 10,000
野生イノシシ経口ワクチン散布事業会計業務	6,254,400	0	6,254,400
受 取 負 担 金	1,798,745	1,855,445	△ 56,700
牛 群 検 定 賦 課 金	1,798,745	1,855,445	△ 56,700
受 取 手 数 料	1,172,960	579,500	593,460
受 取 協 会 事 務 手 数 料	1,172,960	579,500	593,460
家畜防疫互助事業預かり金収益	254,700	793,068	△ 538,368
牛生産者基金預かり金収益	0	413,675	△ 413,675
豚生産者基金預かり金収益	254,700	84,900	169,800
互助事業返戻金収益	0	294,493	△ 294,493
雑 収 益	541,641	523,162	18,479
受 取 利 息	2,013	1,930	83
雑 収 益	459,628	441,232	18,396
賛 助 会 費	80,000	80,000	0
指定正味財産からの振替額	756,556	30,684,399	△ 29,927,843
経常収益計	66,097,687	81,855,273	△ 15,757,586
(2) 経常費用			
事 業 費	59,586,945	74,304,024	△ 14,717,079
給 料 手 当	18,122,730	17,038,686	1,084,044

科 目	当年度	前年度	増 減
予 防 接 種 技 術 料	450,000	471,700	△ 21,700
臨 時 雇 賃 金	1,575,740	1,608,740	△ 33,000
出 向 負 担 金	1,200,000	0	1,200,000
退 職 給 付 費 用	5,260,200	800,000	4,460,200
法 定 福 利 費	2,924,815	2,774,421	150,394
旅 費 交 通 費	958,051	1,084,384	△ 126,333
通 信 運 搬 費	990,549	882,339	108,210
事 務 消 耗 品 費	309,402	234,022	75,380
印 刷 製 本 費	109,497	157,835	△ 48,338
賃 借 料	229,539	294,192	△ 64,653
保 険 料	24,801	25,320	△ 519
諸 謝 金	14,000	14,000	0
租 税 公 課	2,461,385	524,009	1,937,376
ワ ク チ ン 購 入 費	2,567,632	2,889,021	△ 321,389
支 払 負 担 金	315,293	325,481	△ 10,188
家 畜 登 録 事 業 費	479,760	545,615	△ 65,855
精 液 取 扱 事 業 費	8,595,324	6,525,483	2,069,841
支 払 助 成 金	1,060,510	31,066,554	△ 30,006,044
支 払 補 助 金	4,659,778	0	4,659,778
支 払 市 町 村 交 付 金	22,040	23,290	△ 1,250
委 託 費	6,881,980	6,609,990	271,990
雑 費	373,919	408,942	△ 35,023
管 理 費	5,249,122	6,735,341	△ 1,486,219
給 料 手 当	201,255	1,566,754	△ 1,365,499
臨 時 雇 賃 金	11,000	16,500	△ 5,500
法 定 福 利 費	31,917	228,778	△ 196,861
会 議 費	384,345	364,082	20,263
旅 費 交 通 費	44,043	94,975	△ 50,932
通 信 運 搬 費	55,325	231,720	△ 176,395
事 務 消 耗 品 費	20,337	89,002	△ 68,665
印 刷 製 本 費	8,286	31,348	△ 23,062
賃 借 料	107,380	144,882	△ 37,502
事 務 所 費	2,268,766	2,238,766	30,000
慶 弔 費	0	52,800	△ 52,800
租 税 公 課	367,541	126,193	241,348
支 払 負 担 金	666,130	542,130	124,000
雑 費	1,082,797	1,007,411	75,386
支 払 家 畜 防 疫 互 助 事 業 預 り 金	254,700	793,068	△ 538,368
牛 生 産 者 基 金 積 立 金	0	413,675	△ 413,675
豚 生 産 者 基 金 積 立 金	254,700	84,900	169,800
互 助 事 業 返 戻 金	0	294,493	△ 294,493
畜 産 振 興 費	809,000	9,000	800,000
畜 産 振 興 費	809,000	9,000	800,000
経常費用計	65,899,767	81,841,433	△ 15,941,666
評価損益等調整前当期経常増減額	197,920	13,840	184,080
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	197,920	13,840	184,080
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指定正味財産からの振替額	148,974,515	0	148,974,515
経常外収益計	148,974,515	0	148,974,515
(2) 経常外費用			0
返 戻 金	148,974,515	0	148,974,515
肥 育 安 定 基 金	148,974,515	0	148,974,515
経常外費用計	148,974,515	0	148,974,515
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	197,920	13,840	184,080

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産期首残高	5,974,222	5,960,382	13,840
一般正味財産期末残高	6,172,142	5,974,222	197,920
II 指定正味財産増減の部			0
受 取 補 助 金 等	0	30,411,000	△ 30,411,000
肉用牛肥育経営安定特別対策事業費	0	30,411,000	△ 30,411,000
受 取 積 立 金	15,167,000	13,952,000	1,215,000
生 産 者 積 立 金	15,167,000	13,952,000	1,215,000
特 定 資 産 運 用 益	871	2,548	△ 1,677
特 定 資 産 受 取 利 息	871	2,548	△ 1,677
基 金 取 崩 額	149,730,200	30,683,104	119,047,096
基 金 繰 入 額	15,167,000	44,364,253	△ 29,197,253
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 149,731,071	△ 30,684,399	△ 119,046,672
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,172,142	5,974,222	197,920

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給債務額に相当する金額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借処理取引に係る方法に準じた会計処理による。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	21,539,800	5,260,200	0	26,800,000
家 畜 衛 生 基 金	10,279,000	0	0	10,279,000
肥 育 安 定 基 金 預 金	152,726,311	15,167,000	149,730,200	18,163,111
小 計	184,545,111	20,427,200	149,730,200	55,242,111
合 計	184,545,111	20,427,200	149,730,200	55,242,111

3 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金 からの充当額)	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産					
小 計	0	0	0	0	0
特定資産					
退職給付引当資産	26,800,000				26,800,000
家畜衛生基金	10,279,000				10,279,000
肥育安定基金預金	18,163,111				18,163,111
小 計	55,242,111	0	0	0	55,242,111
合 計	55,242,111	0	0	0	55,242,111

4 担保にしている資産 なし

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
家畜生産農場清浄化対策事業	北陸農政局	0	213,421	213,421	0	
牛疾病検査円滑化推進対策事業	北陸農政局	0	601,633	601,633	0	
家畜改良繁殖推進事業	福井県	0	626,000	626,000	0	
畜産経営技術高度化支援指導事業	福井県	0	890,000	890,000	0	
畜産経営技術指導事業	地方競馬全国協会	0	5,388,000	5,388,000	0	
肉用牛肥育経営安定特別対策事業	農畜産業振興機構	111,726,600	0	111,726,600	0	
家畜防疫互助基金支援事業	農畜産業振興機構	0	97,876	97,876	0	
豚コロナ野生インフルエンザ経口ワクチン導入緊急支援事業	農畜産業振興機構	0	5,243,306	5,243,306	0	
合 計		111,726,600	13,060,236	124,786,836	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産運用益振替額	871
肥育牛補填金支払に係る振替額	755,685
経常外収益への振替額	148,974,515
	0
合 計	149,731,071